

1人の首切りも許さない

N関労東

2015. 9 No65

東日本NTT関連合同労働組合

東京都千代田区岩本町2-17-4 NS20ビル1階 労働運動センター
TEL (03) 5820-2070 FAX (03) 5820-2080
E-mail info@n-kanrou.com http://www.n-kanrou.com

■発行責任者: 奥山 信義 ■編集責任者: 田原 博

最大年間3万4千円の減収

許せない! 姑息な賃下げ
60歳超え契約社員の時間賃金

60歳超え契約社員の時間賃金の見直しは4月からスタートしました。最低賃金をクリアするためです。
NTTの提案では、今年度以降あらたに雇用される契約社員の時間賃金を、フルタイムは1010円、週4日勤務などは1000円にそれぞれ引き上げる代わりに、特別手当を引き下げ「月例賃金と特別手当(ボーナス)の年間合計額を維持」するというものです。

ところが、今年度の勤務日数で実際に計算してみると、東京の週4日勤務で3万4千円の年収減・5年間では17万円減になるのははじめ、茨城などの「非加算地域」では、5000円超の年収減となります(下表)。
これでは「デフレ脱却」に逆行です。せめて提案どおり、年収は以前と同額とすべきです。
なお、シニアエキスやシニアプロは、以前と同じ金額です。今年度62歳以上の契約社員の時間賃金の減額は、2面をご参照ください。



12万人が集まった戦争法案反対の8・30国会包囲

憲法違反の法案 廃案しかない

安全保障関連法案は、地球上どこでも自衛隊を派兵して、米軍のあらゆる戦争に参加できるようにする、「戦争参加法」です。
圧倒的多数の憲法学者、弁護士、歴代内閣法制局長官や最高裁元判事が、この戦争法案は、「憲法違反」と明言しています。

各世論調査においても、半数以上の人が安保法案に「反対」です。さらには8月10日の埼玉知事選の共同通信の出口調査では、自民党支持層であっても、安保法案に「反対」は61%超に達しています。
こうした世論を無視して、数の力で押し通すことなど絶対に許されません。憲法違反の法案は廃案にし、安倍政権は退陣すべきです。

私たちが戦争しない未来をつくる

戦争法案廃案に向けた国民の声と行動は全国津々浦々で展開されています。8月30日の抗議行動には国会周辺に12万人が集まり、海外メディアも大きく取り上げました。戦争法案は9月が攻防の頂点です。「戦争法案廃棄・安倍内閣打倒」の行動に参加しましょう。戦争しない未来をつくるのは私たち一人ひとりの力です。

平和外交こそが 安全と暮らしを守る

消費税増税、社会保障の削減や被災地切り捨て、残業代ゼロや生涯派遣をすすめる安倍政権。
その一方で、軍事費は来年度予算の概算要求で過去最高の6兆円近くにのぼっています。
この他に、武器などの購

表1:今年度以降あらたに雇用される60歳超え
契約社員の時間賃金見直しによる年収減額

勤務形態	東京	神奈川	埼玉、千葉	茨城など
フルタイム	28,049	21,170	12,470	7,414
週4日勤務	34,065	29,925	27,248	5,558
週3日勤務	30,611	26,460	23,389	6,278

(注) 週4日勤務は水曜休みで試算 (単位: 円)
週3日勤務は水曜と金曜休みで試算

表2: 東京・週4日勤務は、時間賃金見直しで年間 34,065円減

60歳超え契約社員 東京・週4日(水曜休み)旧賃金制度の年収

年収(円)	年間基本賃金+年間特別手当			1,913,895
	基本賃金	水準調整	勤務時間	年間勤務日数
基本賃金	875	13	7.5	195
年間基本賃金	$(875+13) \times 7.5 \times 195 = 1,298,700$			
	基本賃金	勤務時間	1月の勤務日数	支給月数
特別手当	875	7.5	21×4/5	5.58
年間特別手当	$875 \times 7.5 \times 21 \times 4/5 \times 5.58 = 615,195$			

60歳超え契約社員 東京・週4日(水曜休み)新賃金制度の年収

年収(円)	年間基本賃金+年間特別手当			1,879,830
	基本賃金	地域調整	勤務時間	年間勤務日数
基本賃金	1,000	188	7.5	195
年間基本賃金	$(1000+188) \times 7.5 \times 195 = 1,737,450$			
	基本賃金	勤務時間	1月の勤務日数	支給月数
特別手当	1,000	7.5	21×4/5	1.13
年間特別手当	$1000 \times 7.5 \times 21 \times 4/5 \times 1.13 = 142,380$			

防衛省が見込む
武器購入費などの「ローン」



2015.9.1 東京新聞

厳しさを増す情勢の変化＝具体性なし 安倍首相の脅威論、イランから中国へ

10年で7倍は 偽りの脅威論

安倍政権は、戦後半世紀にわたる政府の憲法解釈を変更する根拠として「格段に厳しさを増す国際情勢の変化」をあげ、その具体例のひとつとして、「領空侵犯に備えた自衛隊機の緊急発進が10年前の7倍に増え」たとしています。

しかし、下図のとおり、緊急発進が少なかった2004年に比べて、2014年が7倍になっているだけで、1980年代の冷戦期と比べて「格段に厳い情勢の変化」は見られません。

こうして、一部のデータをつまみあげて脅威を煽り、憲法解釈まで変えるとは、国民をバカにしています。

憲法解釈変更の 根拠はこじつけ

機雷掃海に首相は言及しはじめました。
安倍政権は、こうしてはつきりとした根拠が示せないまま「脅威」をあり、数の力で憲法違反の戦争法案を成立させようとしています。

派遣法改悪・戦争法案を廃案へ N関労東本部第15回大会開く

8月29日千葉県船橋市にて、東日本NTT関連合同労働組合同労働組合第15回大会が開かれました。

大会では、①光コラボ



(携帯電話会社が光回線も販売することで割安となり、東・西会社は回線貸業へ)などの影響で、職場の統廃合などが進んでいる問題、②作業服の着替えは労働時間として認めさせた取り組みなどが報告されました。また、9月中旬が強行採決のヤマ場と予想される派遣法改悪(一生涯派遣などの問題)や戦争法案については、反対のたたかいを強化していくことを確認しました。

映画紹介 46

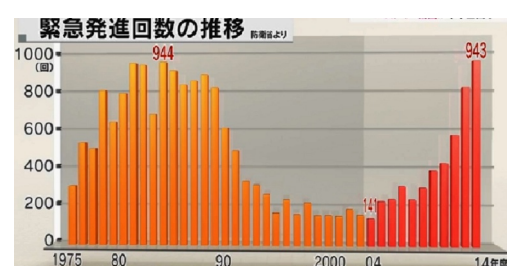


この作品は、14人の元皇軍兵士が日中戦争の中、中国大陸で何をしていたのかを痛切な思いで告白する記録映画です。

人間を虫けら

以下に扱って行った生体解剖や細菌実験。自らの手柄のために行った拷問、大量処刑。民間人を標的

また、安倍首相がこだわり続けてきた中東・ホルムズ海峡での集団的自衛権行使に基づく戦時の機雷掃海は、イランの安保政策責任者が封鎖を否定しています。



今年度62歳以上の60歳超え契約社員の 時間賃金見直しによる年収減額

表3: 東京(1級加算)地域の試算 単位: 円

東京(1級加算)地域	フルタイム	週4日勤務	週3日勤務
2015年度62歳以上	6,554	20,039	15,401
2016年度63歳以上	7,904	20,601	16,160
2017年度64歳以上	10,010	21,780	17,381
2018年度65歳以上	11,234	23,501	19,009

表4: 神奈川県(2級加算)地域の試算 単位: 円

神奈川県(2級加算)地域	フルタイム	週4日勤務	週3日勤務
2015年度62歳以上	5,126	18,930	14,585
2016年度63歳以上	6,129	19,239	15,155
2017年度64歳以上	7,763	21,263	17,010
2018年度65歳以上	9,932	21,333	17,400

表5: 埼玉県 千葉県(3級加算)地域の試算 単位: 円

埼玉、千葉 地域	フルタイム	週4日勤務	週3日勤務
2015年度62歳以上	1,874	19,283	14,850
2016年度63歳以上	2,531	19,340	15,231
2017年度64歳以上	3,692	21,011	16,821
2018年度65歳以上	5,263	21,849	17,788

表6: 茨城県など(非加算)地域の試算 単位: 円

茨城県など地域	フルタイム	週4日勤務	週3日勤務
2015年度62歳以上	2,268	939	1,295
2016年度63歳以上	2,579	1,891	2,346
2017年度64歳以上	4,779	3,209	3,672
2018年度65歳以上	5,783	3,594	4,298

60歳超え契約社員の時間賃金の見直しに伴い、N T Tの提案では、「年間合計額を維持」するはずが、今年度62歳以上の契約社員も、表3～表6

のとり減収額が年々大きくなるように、特別手当を削減しているのが特徴です(週4日勤務は水曜休み、週3日勤務は水・金曜休みでそれぞれ試算)。

すずめの涙の賃金をさらに削るのは許せません。年収をせめて以前と同額にしるの声を上げていきましよう。

(関連記事1面)

日本鬼子・リーベンクイズ 2001年 日本

い尽くし、焼き尽くす」という鬼畜の行為の数々。戦争とは、人間の良心を麻痺させ人間性を奪い

作品はありません。「実に憎むべきは、私たちです」と残忍な加虐行為を半世紀以上経った

現在、国会では「戦争法案」が多くの国民や有

識者が反対する中で強行採決され、国会を通過しようとしています。そういう中で、当事者が真実を暴くという、勇氣あるこの作品は非戦平和の大切さを私たちに伝えてくれます。

(み)

